

## 公開講座の開設主旨・目的等

現在、第二次世界大戦後に構築されてきた国際秩序が動揺しています。トランプ政権の誕生にともない、各国は外交・安全保障政策の見直しを迫られています。ヨーロッパ諸国は、大量の難民の流入、度重なるテロ、ブレグジットといった難題に直面しています。東アジアでは、南沙諸島や尖閣諸島などをめぐって領土問題が噴出しています。

世界規模で起こっている変動を総体として理解するためには、複眼的な視点が求められます。主要国・地域の利益、国際秩序観、力関係はどのように変化しているのでしょうか。そして、それはどのような要因によって生じているのでしょうか。本講座では、アメリカ、中国、ドイツ、イスラーム世界から、変化する国際秩序の全体像を探っていきます。

10月14日には、まず、アメリカと中国を取り上げます。第一講義では、トランプ政権の外交政策の特質について、国内政治の変容と関連付けながら論じます。第二講義では、これまで中国が国際社会で果たしてきた役割について概観したうえで、今後中国はどのような国際秩序を構築していこうとしているのかを展望します。

10月21日には、ドイツとイスラーム世界が取り上げられます。第一講義では、メルケル政権の外交政策について、国際関係や国内政治の変化を視野に入れつつ論じます。第二講義では、イスラーム世界の多様性を確認したうえで、イスラーム諸国が国際秩序においてどのような役割を担おうとしているかについて考察します。

## 講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	10月14日	13:20～14:50	トランプ政権の外交政策とその背景	安岡 正晴
2		15:10～16:40	中国の台頭と国際秩序	谷川 真一
3	10月21日	13:20～14:50	メルケル政権の外交と政治	近藤 正基
4		15:10～16:40	イスラーム世界から見える国際秩序	中村 覚

## 連絡先

〒657-8501  
神戸市灘区鶴甲1-2-1  
神戸大学国際人間科学部鶴甲第一キャンパス事務課総務係  
TEL:078-803-7515  
FAX:078-803-7509